令和８年度 生徒募集要項

推薦入試　1月16日(金)
一般入試　1月23日(金)

募集定員	看護学科	医療福祉科	普通科			備考
			特進課程	教養課程	普通課程	
	８０名	４０名	３５名	４０名	４０名	試験地（受験者の有無により，試験地を再編成します） 推薦入試　出水・鹿児島・八代・人吉・天草・熊本・沖縄ほか 一般入試　出水・脇本・長島・伊佐・川内・宮之城・鹿児島・霧島・奄美大島・水俣・八代・人吉・天草・熊本・沖縄 ほか
WEB出願	情報登録期間：令和７年12月１日(月)～令和８年１月９日(金) 検定料支払期間：令和７年12月８日(月)～令和８年１月９日(金)					
願書受付	令和８年１月５日(月)～令和８年１月９日(金) 必着					
出願書類	入学願書・調査書もしくは推薦書（鹿児島県私学協会統一書式）					検定料（10,000円）
選考日	推薦入試 令和８年１月16日(金)　一般入試 令和８年１月23日(金)					

選考方法	学科	一般入試	推薦入試
	看護学科	国語・数学・英語・面接	1　書類選考 2　面　接 ※全科・課程共通
	医療福祉科		
	普通科 特進課程	国語・数学・英語・社会・理科・面接	
	普通科 教養課程	国語・数学・英語	
	普通科 普通課程		

合格発表	推薦入試 令和８年１月20日(火)　一般入試 令和８年１月29日(木)　中学校・本人宛て
入学手続	推薦入試・一般入試ともに令和８年１月30日(金)～令和８年２月６日(金)まで。但し，医療福祉科・普通科（教養・普通課程）の公立高校受験者については公立高校合格発表日翌日（16時30分）まで延期することができます。

令和八年度生徒募集要項を掲載します。

①推薦入試
全科・課程対象。本校第一志望で、所定の推薦条件を満たし、中学校からの推薦を受けたうえでの入試です。中学校からの書類と面接のみとなります。

②一般入試
全科・課程とも専願もしくは併願で受験できます。特進課程は五教科（国語・数学・英語の各一〇〇点と理科・社会の各五〇点　合計四〇〇点満点）、他の科・課程は三教科（国語・数学・英語の各一〇〇点　合計三〇〇点満点）の学科試験があります。また、特進課程・医療福祉科・看護学科は面接試験もあります。

※奨学金制度
看護学科と医療福祉科には病院施設奨学金制度があります。本校指定の奨学病院・施設から入学金と月々の奨学金を受給できる制度で、資格取得後、指定期間勤務すれば返済の必要がありません。
普通科（特進課程・教養課程・普通課程）には、学園奨学金制度（※適用人数に制限あり）があります。これは、本校に推薦・専願入学を希望する生徒で、経済的な援助が必要な生徒に支給が検討されるもので、対象者は、特に人物良好であり、他の模範となる生徒が条件となっています。
兄弟姉妹が本校に在籍されている間は兄弟姉妹在学奨学生制度が適用されます。（詳しくは学校へお問い合わせください）
さらに国から就学支援金を受給できます。いずれの制度も、県の育英会奨学金等と併せて利用できますので、経済的な負担の軽減に役立っています。

◎入試説明会実施中！

本校の説明をお聞きになりたい生徒さんや保護者の方を対象に、各地の中学校や塾・公共施設等で本校紹介・入試説明会を実施しております。詳しくは本校ホームページをご覧ください。参加をお待ちしております。

秋の体験入学を実施します！

10月11日(土) 9:00～12:30　送迎バス運行（一部地域を除く）

※夏の体験入学よりも，入試説明会としての内容を重視します。ぜひご参加ください。

特進日曜教室開講！（中学３年生対象）

入試問題演習でわかる喜び・解ける楽しさを体験してみませんか？
高校入試問題に対応する学力を身につけましょう。
入試まで，どんな勉強をすればよいか学習方法もアドバイスします！

受講料無料

日程			
11月 9日	(国語・数学・英語)	8:00～ 8:20	受　付
11月23日	(　〃　)	8:30～ 9:40	１教科目授業・個別指導
12月 7日	(　〃　)	9:55～11:05	２教科目授業・個別指導
12月21日	(　〃　)	11:20～12:30	３教科目授業・個別指導

※高校入試問題解説と個別指導を実施します。
※毎回プリント代等を含む実費200円のみ集金いたします。

※詳細は,本校ＨＰをご覧いただくか,本校「日曜教室担当」までお問い合わせください。

夢をつくる　確かな自分をつくる

出水中央高校新聞
発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677
https://izumi.ac.jp
info@izumi.ac.jp

校訓
「協調」
「規律」
「勤労」

インターハイで輝く

卓球部は、七月三〇日～八月四日に山口県下関市で開催された全国高校総合体育大会卓球競技大会に出場しました。
女子ダブルスに出場したのは、普通科特進課程に在籍する先輩後輩ペア、西田りん選手（三年・霧島市立日当山中出身）と鬼塚結子選手（二年・鹿児島市立谷山中出身）です。彼女たちはインターハイの大舞台に立つということで、最初は緊張から硬さが見られました。しかし、第二ゲームからは自分たちのプレースタイルを取り戻し、堂々としたプレーで初戦を突破しました。この勝利は、本校卓球部として全国大会での初勝利となり、部の歴史に新たな一ページを刻みました。試合後、先輩である西田選手は「勉強との両立に苦しんだ時期もあったが、仲間や両親の言葉に助けられた。最後まで続けて本当に良かった」と達成感に溢れ、地元紙にも取り上げられました。
女子シングルスには、看護学科基礎課程に在籍する姉妹、犬童心音選手（三年・八代市立第一中出身）と犬童朱音選手（一年・同）が出場しました。妹の朱音選手は下級生ながらも落ち着いたラリーを展開し、見事初戦を突破しました。一方、姉の心音選手も兵庫県一位の強敵を相手に善戦しました。惜しくも勝利は逃しましたが、彼女のプレースタイルである粘り強さは看護師になるための地道な学びに生かされるものと思います。
今回のインターハイ出場は、卓球部にとって大きな自信となりました。特に今回出場した二名の一・二年生はこれからもチームを牽引する存在になるでしょう。そして、部員たちは「来年こそは学校対抗団体戦での初出場を」と、早くも次の目標に向けて意欲を燃やしています。今後とも応援をよろしくお願いします。

保護者面談会

七月から八月の期間に、三つの会場（八代・沖縄・天草）にて、保護者面談会を実施しました。当日は、事前のアンケートで、学級担任との面談希望があった皆様を対象とし、日頃、学校に来られる機会が少ない遠方の保護者の皆様にお越しいただきました。保護者の皆様と学級担任との相互理解や共通認識を図ることで、よりよい学校生活や寮生活を送ることができるように、学校生活や寮生活、あるいは部活動での様子や自宅学習の状況等の情報交換が行われました。



多くの中学生が来校

今年度は八月二日（土）・八月三日（日）の二日間、中学生対象に体験入学を実施しました。八月二日（土）は熊本方面への送迎、八月三日（日）は鹿児島方面への送迎を行い、昨年を上回る参加をいただきました。各科・課程の説明や体験授業、実習体験、在校生との交流など盛りだくさんの内容で参加した中学生も楽しそうに体験し耳を傾けていました。
八月三日（日）は午後から野球部の体験入部が併せて行われ、本校の野球部専用グラウンドで打撃練習や投球練習、守備練習を行い、高校硬式野球を存分に体験しました。
また、八月二三日（土）には部活動体験付の体験入学を行い、女子ソフトボール・女子サッカー・駅伝・バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球・柔道・剣道・弓道・軽音楽・手話など、多くの体験入部が実施できました。当日は部活動体験なしの体験入学も実施し、看護学科や医療福祉科の実習体験、普通科の体験授業に多くの生徒・保護者の皆さんが参加してくれました。
八月三〇日（土）には、吹奏楽部の体験入部が実施され多くの中学生が参加しました。当日は高校生にとっても教える側の視点でとても勉強になった一日でした。多くの生徒・保護者・引率の先生方に参加していただき心からお礼を申し上げます。
なお、一〇月一一日（土）には秋の体験入学を実施いたしますので多くの方の参加をお待ちしています。また一一月八日（土）には、看護学科の戴灯式に合わせ、「看護学科体験入学」も予定しておりますので是非ご参加ください。
また、本校の説明をお聞きになりたい生徒・保護者の方を対象に各地区で入試説明会を予定しております。詳しくは本校ホームページをご覧いただきお申し込みください。






紫尾嶺

「ピンチはチャンス」「やらずに後悔よりやって後悔」「お陰様で」そして物事に没頭しがちな私にブレーキをかけてくれる、座右の銘ともなった「できたひこ（出来ただけで十分）」。教職に就き三〇年目、実に多くの言葉と出会い、言葉の一つ一つに感動や勇気、力を貰ってきた。その中の一つ「生きていれば、どうにでもなる」について紹介したい▼毎年終戦記念日には、平和の有難さ、命の尊さを訴えるスピーチコンテストが知覧の地で開催される。そのコンテストに出場した生徒のスピーチの題名が「生きていれば～」だ▼彼女は六九四グラムの極小未熟児としてこの世に誕生した。持病を持つ母親の胎内にいられたのは僅か七か月、誕生後暫くは保育器から栄養を貰った。出産後麻酔が切れ、面会できるようになった母親に父親がかけた言葉が「母ちゃん、生きてたよ、生きてたよ。生きていればどうにでもなる」だった。生まれたばかりの娘の写真を見せ、嬉しさを全身で表現しながら話す父親の姿に、母親は勇気を貰い希望を持ったそうだ。彼女自身も同様である。陸上部で短距離種目に汗を流し、毎日友人と笑顔で過ごす彼女の中には父親の言葉が生き続けていたに違いない▼コンテスト当日、父親の言葉の部分で感極まり、声をつまらせながら語る彼女の姿に、私自身も我が子の誕生の時を思い出した▼「とにかく無事に生まれてきてほしい」と心から願った。そして産声が聞こえた瞬間、喜びと安堵の感情が爆発し、涙を流した。親として、この子の生を守ると決意した。部活人間で大事な時に寄り添えなかった後悔はあるが、成人し自分の人生を歩む我が子たちの姿に、喜びや感動、時には敬意の念を抱くことも度々ある。心底有難いと感じている▼これまで多くの生徒と向き合ってきた。「人生は辛いことだけじゃない、『生きてよかった』と思える時がきっとくるよ」と語りながら、共に苦難を乗り越えたことも数え切れない。今も、これからも、大事な教え子たちに貴い言葉たちを伝えていきたい▼言葉には大きな力がある。そのことを心から信じて、自分も周囲も活かす前向きな言葉を探し、発する一人の国語人であり続けたい。
（前田　壮一）

令和７年度　出水中央高等学校生徒会スローガン『獅子搏兎（ししはくと）～どんな一歩も全力で～』

新任の先生方

①趣　味　②好きな食べ物
③好きな言葉　④生徒たちへ一言



豊田　翔凪 先生
（看　護）

①一眼レフ、アウトドア
②粉物
③明日のことは明日の自分が何とかする
④沢山お話しましょう。



塘　紗也華 先生
（看　護）

①ドライブ
②果物
③笑う門には福来る
④皆さんが楽しい学校生活を送れるよう一生懸命サポートしていきたいと思います。学校行事は皆さんと大いに盛り上がっていきたいです。よろしくお願いします。

夏季宿泊研修　特進課程一年

特進課程一年生は、八月二六日～二八日、二泊三日の日程で、恒例の宿泊研修を実施しました。天候にも恵まれ、普段は経験できない活動を通して、見聞を広めながら級友同士の親睦を深めました。

一日目は熊本県山都町の国宝・通潤橋や清和文楽館を訪れ、先人の作り上げた日本の伝統的な建築や芸能に興味深く見入っていました。夕食は「阿蘇青少年交流の家」野外調理場で炊飯・バーベキューに挑戦し、互いに協力して火起こしや調理を行い、楽しい食事の時間を過ごしました。

二日目は東海大学臨空キャンパス訪問、熊本地震震災ミュージアム「KIOKU」で震災遺構を見学、そして南阿蘇鉄道トロッコ列車に乗車。東海大学臨空キャンパスでは大学概要説明・模擬講義の他、キャンパスの各フロア・各研究室ごとに研究室の先生から詳しい紹介をしていただき、大学のこと、学問のことに対して理解を深めることができました。「KIOKU」では生々しい地震の爪痕とともに、復興に立ち上がる人々の力強さを実感できました。トロッコ列車では、開放的な車両で風を感じながら南阿蘇を走り、峡谷や田園などの阿蘇の地形・自然を存分に体感することができました。



三日目は熊本城とその近辺を中心に生徒が班ごとに分かれ自主研修を行いました。熊本城や美術館、その他施設で友人同士で楽しく過ごし、思い出に残る時間になったようです。

「阿蘇青少年交流の家」を拠点に三日間寝食を共にし、普段の学校生活とは違う形でさまざまなことを体験し、生徒たちにとって有意義な学びの期間となりました。

DXハイスクールの整備進む

本校看護学科では、文部科学省による「高等学校ＤＸ加速化推進事業（ＤＸハイスクール）」の一環として、より実践的な学びに向けて看護実習室の整備を行いました。今回の整備では電子黒板や模擬患者を活用した技術を動画撮影・行動記録を行う、より効果的で先進的な学びの環境を整えました。

また、電子黒板を活用し大画面での振り返りが可能となっています。その他にも、ＶＲゴーグルや３Ｄプリンターを導入し、生徒一人ひとりがより深い理解と実践力を身につけられるようになりました。これにより、デジタル技術を活用した新たな学びの形を推進し、生徒の主体的な学びを支援していきます。

一二月には専門課程一年生が海外研修旅行の一環として台湾の財團法人馬偕（マカイ）醫護管理專科學校の看護学生との交流を予定しています。





水泳部　九州大会出場

令和七年七月一九日から二一日にかけて、宮崎県で開催された「第七三回全九州高等学校水泳（競泳）競技大会」に、本校から二名の生徒が出場しました。

出場したのは、井川寛太朗さん（Ｓ３―２）と大瀧真綾さん（Ｓ１―１）。井川さんは男子バタフライ百ｍと二百ｍ、大瀧さんは女子平泳ぎ百ｍ・二百ｍに出場しました。

二人は高校入学前からスイミングスクールで練習を重ね、入学後も勉強と両立しながら競技を続けてきました。今回の大会は、井川さんにとって高校生活最後の、大瀧さんにとっては初めての九州大会となりました。

惜しくも決勝進出には届きませんでしたが、それぞれがベストを尽くし、これまでの努力の成果をしっかりと発揮することができました。

大会を終えた井川さんは、現在受験勉強に向けて新たな目標に取り組んでいます。水泳で培った集中力と粘り強さを活かし、次のステージでも力を発揮してくれることでしょう。一方、大瀧さんは高校生活が始まったばかり。初めての九州大会という大舞台で得た経験を糧に、今後の競技力向上に向けて意欲を高めています。日々の練習に加え、学業にも真剣に取り組んでおり、文武両道を目指す姿勢が印象的です。これからの成長と活躍に、大きな期待が寄せられています。



吹奏楽部　県コンクール19大会連続「金賞」

吹奏楽部は、令和七年度第七〇回鹿児島県吹奏楽コンクール（高校Ａの部）にて「金賞」を獲得しました。

金賞獲得は、強化部指定の平成一七年から連続です。令和二年度第六五回県高校吹奏楽コンクールは新型コロナウイルス感染防止のため中止になりましたので、令和二年度を除いて一九大会連続での受賞となります。

目標としていた「第七〇回九州吹奏楽コンクール（高等学校の部）」へ出場する県代表二校には入れませんでしたが、次点の学校が推薦される、来年二月に沖縄県で行われる九州高校文化連盟主催の「全九州吹奏楽大会」に鹿児島県代表として推薦をいただきました。この大会で得た課題などを今後の練習に生かしていきたいと思います。

今回のコンクールで、応援してくださった多くの皆様、学校関係者、保護者の皆様へ心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

男子駅伝部　監督就任挨拶



皆さん、こんにちは。

九月、男子駅伝部監督として着任しました井上浩です。ご縁があり、この出水の地に舞い降りました。

初日から校内で出会った先生方や生徒さんたちからたくさんの挨拶を受けました。とても活気に満ちあふれている学校だなと感じました。

市内も自然や施設などが調和し利便性も抜群です。この恵まれた環境にある出水市、出水中央高校で皆さんと共に成長していきたいと思います。

江戸時代、米沢藩主であった上杉鷹山の言葉です。

為せば成る　為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり

高校時代、失敗を恐れずに、何事にもチャレンジしてください。そのたくさんの失敗を糧にして進む道、その先に成功（栄光）が見えてくると信じています。

全員で、この紺碧の空に向かって羽ばたき舞い上がりましょう。

活躍する部活動

駅伝部

第１回 日置地区記録会（6/14）

【男子3,000m】

奥園	一颯	9:01.87	荒木	蓮斗	9:09.83
朝戸	尊人	9:17.45	山口	穣次	9:35.06
元村	瑛人	9:37.20	平	範幸	9:39.94
杉本	涼雅	10:03.92	荒木	斗真	10:12.02
東郷	辰大	10:15.66			

第２回 熊本県記録会（7/5）

【男子5,000m】

平	翔太郎	15:25.23	愛下	慶士	15:28.09

【男子3,000m】

福田	陽仁	8:43.19	倉元	大智	8:45.22
黒田	大翔	8:51.57	宮内	瞭	9:05.15
荒木	蓮斗	9:05.77	元村	瑛人	9:12.00
平	範幸	9:17.16	伊瀬知蒼空		9:38.46
山口	蓮	9:41.34			

第80回 鹿児島県陸上競技選手権大会（7/11～13）

【男子5,000m】

倉元	大智	15:19.88	宮内	瞭	16:05.24
荒木	蓮斗	16:10.59	元村	瑛人	16:22.65
黒田	大翔	17:05.08	西竹	慧大	17:23.06

【男子3,000m】

朝戸	尊人	9:05.70	杉本	涼雅	9:46.52
荒木	斗真	10:19.34			

【男子1,500m】

梨子本	駿	4:06.41	朝戸	尊人	4:10.20
山口	穣次	4:11.51	東郷	辰大	4:24.43
杉本	涼雅	4:29.16			

【男子800m】

山口	穣次	2:02.32

【男子3,000m障害】

平	翔太郎	9:47.05

【女子1,500m】

北山菜々花		5:20.22	山之内	梓	5:40.03

【女子3,000m】

内村	羽那	10:19.34

第30回 九重町長杯九州選抜高校駅伝競走大会（8/31）

13位　2時間18分39秒

1区	10㎞	平　翔太郎	32分38秒	区間14位
2区	3㎞	奥園　一颯	9分35秒	区間13位
3区	8.1075㎞	荒木　蓮斗	26分45秒	区間14位
4区	8.0875㎞	倉元　大智	26分56秒	区間12位
5区	3㎞	朝戸　尊人	9分46秒	区間13位
6区	5㎞	宮内　瞭	16分27秒	区間14位
7区	5㎞	伊瀬知蒼空	16分32秒	区間13位

卓球部

2025年度 国民スポーツ大会卓球競技県選手選考会（6/7～8）

【少年女子】犬童　心音　第３位（県代表選手）
鬼塚　結子　第６位
犬童　朱音　第７位　　他５名出場

第78回全九州高等学校卓球競技大会（6/27～29）

【女子学校対抗】１回戦　１－３ 鎮西学院（長崎）
【女子ダブルス】
犬童心音・犬童朱音　１回戦　３－１ 日南学園（宮崎）
２回戦　３－０ 明　豊（大分）
準々決勝　０－３ 慶　誠（熊本）
※全九州高等学校卓球競技大会ランキング第７位
西田りん・鬼塚結子　１回戦　１－３ 希望が丘（福岡）
【女子シングルス】
犬童　朱音　１回戦　３－２ 敬徳（佐賀）
２回戦　０－３ 明豊（大分）
犬童　心音　１回戦　０－３ 慶誠（熊本）



令和７年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会
第94回全国高等学校卓球選手権大会（7/30～8/4）

【女子ダブルス】
西田りん・鬼塚結子　１回戦　３－１ 長野商業（長野）
２回戦　０－３ 四天王寺（大阪）
【女子シングルス】
犬童　朱音　１回戦　３－１ 城　南（徳島）
２回戦　０－３ 星槎横浜（神奈川）
犬童　心音　１回戦　１－３ 神戸野田（兵庫）

令和７年度 国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会（卓球競技）（8/29～31）

犬童心音が鹿児島県（少年女子）代表選手として出場

2025年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）県予選（9/13～14）

【混合ダブルス】７組出場
【女子ダブルス】鬼塚・犬童　第４位　他３組出場
【女子シングルス】７名出場
【ジュニア女子シングルス】鬼塚結子　第４位　　他６名出場

柔道部

高校総体鹿児島県予選（5/26･27）

【女子団体】決勝リーグ…４位
本校 ０－３ 国分中央
本校 ０－３ 鹿児島南
本校 １－２ 鳳　　凰
【男子団体】予選　本校 ０－４ 鹿児島実業
【男子個人】松原　陽紘…５位入賞　橋元　百…初戦
荒田　晨聖…初戦　竹田　快晴…初戦
【女子個人】緒方　虹花…初戦　沖田　陽菜…初戦
堀切　優衣…５位入賞　永田平若紗…３位

令和７年度 金鷲旗柔道大会（全国高等学校柔道競技大会）（7/22･23）

【男子団体】本校 ０－５ 前橋育英（群馬）
【女子団体】本校 ０－５ 新　　田（愛媛）

肥薩大会（8/24）

肥後軍 対 薩摩軍・・・肥後軍の勝利
松原　陽紘　優秀選手賞

女子バスケットボール部

第78回 鹿児島県高等学校バスケットボール競技大会（5/24）

【１回戦】本校 ×38－68○ 鶴丸

男子バレーボール部

第78回 鹿児島県高等学校バレーボール競技大会（5/29）

１回戦　本校 ０－２ 大島

令和７年度 鹿児島県私立高等学校バレーボール大会（7/12）

【予　　選】本校 ０－２ 鹿児島城西　本校 ０－２ 鹿児島情報
【順位決定】本校 ２－１ 鹿屋中央　本校 ２－０ れいめい

女子バレーボール部

第78回 鹿児島県高等学校バレーボール競技大会（5/29）

１回戦　本校 ０－２ 国分

令和７年度 鹿児島県私立高等学校バレーボール大会（7/12）

【予　　選】本校 ０－２ 鹿児島実業　本校 ０－２ 鹿児島情報
【順位決定】本校 ２－０ 龍　　桜　本校 １－２ 鳳　　凰

軽音楽部

第６回 鹿児島県高等学校文化連盟軽音楽コンテスト（7/28）

バンド名：あれぐろりぼっぷ
コピー・カヴァー部門33エントリー中21位

個人活動（水泳）

第73回 全九州高等学校水泳（競泳）競技大会（7/19～21）

井川寛太朗　バタフライ 100m, バタフライ200m
大瀧　真綾　平泳ぎ 100m, 平泳ぎ 200m

ねこ同好会

- 生徒総会で設立を承認（5/15）
- ねこ同好会発足記者会見を実施（6/9）

野球部

第67回鹿児島県選抜野球大会（5/23～31）

２回戦　本校 ７－０ 鶴　丸
準々決勝　本校 ４－１ 加治木
準 決 勝　本校 １－15 鹿児島実（5回コールド）

令和7年度 春季北薩地区高等学校野球大会（6/12）

１回戦　本校 ０－５ 川内

第107回 全国高等学校野球選手権鹿児島大会（7/10～16）

１回戦　本校 10－０ 鹿　　屋（5回コールド）
２回戦　本校 ０－２ 鹿児島商

令和7年度 秋季北薩地区高等学校野球大会（8/21～26）

１回戦　本校 ７－０ 川内商工（7回コールド）
準 決 勝　本校 ５－４ れいめい
決　　勝　本校 ４－３ 川　　内　※優勝

男子サッカー部

県トップリーグ１部リーグ

5/31 本校 ０－１ 城西next　6/7 本校 １－３ 樟南
6/21 本校 ０－１ れいめい　6/28 本校 ２－５ 神村2nd

北薩地区春季サッカー大会（5/8）

１次リーグ　本校 ０－０ 川内
本校 12－０ 出水　※雨天のため、２日目中止

県総体サッカー競技大会（5/18～）

１回戦 本校 ２－０ 鹿児島情報
２回戦 本校 ４－０ 徳之島
３回戦 本校 １－１（PK４－５）鹿屋中央

県１年生サッカー大会（7/19･20）

予選リンク　本校 ３－１ 鹿児島実業
本校 ４－０ 鹿児島南
準　決　勝　本校 ２－２（PK４－２）樟南
決　　勝　本校 ０－３ 鹿児島　※準優勝

放送部

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト鹿児島県大会（6/4）

【アナウンス部門】
出場：尾崎　蘭・福浦　百夏・本田　絆叶・金田一巧人
【朗読部門】
出場：右田　彩夏・高橋　真紀・冨永　満愛
決勝進出：野畑　実沙

地域リーダー同好会

- 出水市浸水土砂災害避難訓練（4/20）
- 危険物取り扱い講座（6/7）
- 米ノ津中学校「災害を想定した総合学習」（7/12）
- 出水消防署表敬訪問（全国交流大会出場報告）（7/17）
- 全国少年消防クラブ交流大会（鹿児島代表）（9/13･14 広島県広島市）